

## 資料4(付2)

(様式2)

### 社団法人心理学会研究集会等助成金成果報告書

代表者氏名 (ふりがな)	山田 富美雄 (やまだ ふみお)	所属	大阪人間科学大学
連絡先 (電話・E-mail)			
研究集会等名称	まばたき研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください)</p> <p>会員 24名 (うち認定心理士 4名) 非会員 6名 (うち認定心理士 0名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 (実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください)</p> <p>日本心理学会においてワークショップを開催しました。 日時：平成20年9月19日(金) 13:00より15:00まで 内容：瞬目研究の新たな展開 (1) 一重症心身障害児形成評価の測度として— (話題提供2件と指定討論2件)</p> <p>年1回の定例研究集会を下記のとおり行いました。 日時：平成21年3月29日(日) 13:00より3月30日(月) 12:30まで 場所：白鷗大学 東キャンパス (幹事：田多英興、所属：白鷗大学) 内容：ワークショップ (話題提供4件) および特別企画 (話題提供2件)</p> <p>研究集会のワークショップでは「瞬目データの共有化(4)」について、その問題点について活発な情報交換が行われました。また、特別企画は「心理学領域における瞬目研究の展望」と題し、人間工学の側面から瞬目研究の意義が検討され、指標としての瞬目の可能性が議論されました。</p> <p>なお、研究会に続く総会において、会計報告とまばたき研究会の今後の進め方についての話し合いが行われました。次回の定例研究集会は、来年度同時期(平成22年3月末の2日間)に、山陰地方にて開催すること(幹事：橋本由里、島根県立看護大学)を決定しました。それに加え、日本心理学会ワークショップでのまばたき研究の研究集会、および科研費への申請を引き続き行うことについて、参加者全体の賛同を得ました。</p>		